

- 問1 日本国憲法では、衆議院の解散に伴う総選挙が行われた際、その選挙の日から30日以内に特定の国会を召集することが定められています。この国会の名称として正しいものを選んでください。(2019年 鳥根公立入試 類似)
1. 特別国会 (特別会)
 2. 臨時国会 (臨時会)
 3. 通常国会 (常会)
 4. 参議院の緊急集会
- 問2 日本の裁判制度では、裁判を慎重に行うことで国民の人権を守るため、同じ事件について3回まで裁判を受けることができる三審制が採用されています。第一審の裁判所である地方裁判所や簡易裁判所が下した判決に納得がいけない場合に、第二審の裁判所に対して申し立てを行う手続きを何と呼びますか。(2024年 愛媛公立入試 類似)
1. 控訴
 2. 上告
 3. 告訴
 4. 公訴
- 問3 日本の議院内閣制における、内閣と国会の関係についての説明として正しいものはどれですか。(2017年 鳥取公立入試 類似)
1. 内閣総理大臣は必ず国会議員の中から指名され、国務大臣の過半数も国会議員でなければならない。
 2. 内閣総理大臣は最高裁判所によって指名され、国務大臣はすべて民間人から選ばなければならない。
 3. 内閣総理大臣は参議院議員のみから選ばれ、衆議院議員は国務大臣にすることができない。
 4. 内閣総理大臣は国民の直接投票で選ばれ、国会に対しては一切の責任を負わない。
- 問4 日本の政治制度における内閣の権限と、国会との関係について説明した文として、正しいものはどれですか。なお、予算の審議過程における原則についても考慮して答えなさい。(2023年 秋田県公立入試 類似)
1. 内閣には予算を作成して国会に提出する権限があるが、提出された予算案は必ず衆議院から先に審議される
 2. 内閣は国会が制定した法律を運用する役割を持つため、予算案の作成権限は持たず、国会の指示に従って執行のみを行う
 3. 内閣は条約を締結する権限を持つため、これに付随する予算の決定については国会の議決を経る必要がない
 4. 内閣は行政の長として、国会が開会している期間に限り、翌年度の予算を独自に確定させることができる
- 問5 最高裁判所が「憲法の番人」と呼ばれている理由として、最も適切な説明はどれですか。(2021年 北海道公立入試 類似)
1. 法律、命令、規則、処分などが憲法に適合するかを決定する最終的な権限を持つため
 2. 内閣が憲法に違反する行為を行った場合に、内閣総理大臣を直接解任できる権限を持つため
 3. 国民の代表として、国会が提出した予算案が憲法の理念に合っているかを事前に承認するため
 4. 憲法改正案の内容が適切かどうかを審議し、国民投票を実施するかどうかを判断するため
- 問6 衆議院と参議院の仕組みや権限の違いについて述べた記述のうち、制度上の説明として正しいものはどれですか。(2017年 富山県公立入試 類似)
1. 参議院には解散がないため、予算案の審議は必ず参議院から始めなければならないと定められている。
 2. 衆議院は参議院よりも任期が短く、解散もあるため、国民の意思をより強く反映しやすいとして「衆議院の優越」が認められている。
 3. 法律案の議決において両議院の意見が一致しない場合、いかなる場合でも参議院の議決が国会の議決として優先される。
 4. 参議院議員の任期は4年であり、3年ごとに半数を改選することで、政治の安定性を確保する仕組みとなっている。
- 問7 日本国憲法が定める「裁判官の独立」の原則について、裁判官がその職権を行うにあたって拘束を受けるものとして、正しい組み合わせはどれか。(2022年 佐賀公立入試 類似)
1. 自らの良心、日本国憲法、および法律
 2. 内閣総理大臣の指示、および日本国憲法
 3. 最高裁判所長官の命令、および法律
 4. 国会による決議、および自らの良心
- 問8 日本の政治制度における三権分立では、各機関が互いに抑制し合う仕組みが整えられています。国会 (立法権) から裁判所 (司法権) への働きかけを示す資料において、著しく不適切な行為があった裁判官を罷免 (辞めさせる) するために、国会議員によって構成される裁判所で実施される手続きを何といいますか。(2016年 奈良公立入試 類似)
1. 弾劾裁判
 2. 国民審査
 3. 違憲立法審査
 4. 検察審査会
- 問9 国の権力を立法・行政・司法の三つに分け、それぞれを独立した機関に担当させる「三権分立」の仕組みが採用されている目的として、最も適切な説明はどれですか。(2023年 愛媛公立入試 類似)
1. 一つの機関に権力が集中することを防ぎ、抑制と均衡によって国民の権利を守るため
 2. 国の予算を効率的に配分し、行政サービスの提供スピードを最大限に高めるため
 3. 国会を「国権の最高機関」とし、他の機関に対する絶対的な支配力を確保するため
 4. 憲法改正の手続きを簡略化し、時代の変化に合わせた法律を迅速に作るため
- 問10 日本の司法制度において、検察官が事件を裁判にかけない「不起訴処分」とした判断が適切かどうかを審査するために、地方裁判所などに設置されている組織の名称を答えなさい。この組織は、くじで選ばれた11人の国民によって構成されます。(2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 検察審査会
 2. 裁判員制度
 3. 簡易裁判所
 4. 公安審査委員会
- 問11 予算の議決や内閣総理大臣の指名において、参議院よりも衆議院の判断が優先される「衆議院の優越」が認められている理由として、最も適切な説明はどれですか。(2018年 岐阜公立入試 類似)
1. 衆議院は参議院に比べて任期が短く解散もあるため、国民の意志をより密接に反映していると考えられるから。
 2. 衆議院は参議院よりも議員定数が多く設定されており、より多くの国民の声を代表しているから。
 3. 衆議院議員の被選挙権が参議院議員よりも低く設定されており、若者の意見を取り入れやすい構造だから。
 4. 衆議院には法律案を提出する権限が独占的に与えられており、参議院よりも立法上の役割が大きいから。
- 問12 最高裁判所の裁判官を審査する「国民審査」と、国会議員によって組織され、職務上の義務に違反した裁判官を裁く「弾劾裁判」の違いについて、正しい説明はどれですか。(2024年 群馬公立入試 類似)
1. 国民審査は主権者である国民が直接行い、弾劾裁判は国会が設置する裁判所で行われる。
 2. 国民審査はすべての裁判官を対象とするが、弾劾裁判は最高裁判所の裁判官のみを対象とする。
 3. 国民審査は裁判官に犯罪の疑いがある場合に行われ、弾劾裁判は一定の任期ごとに行われる。
 4. 国民審査の結果は法的拘束力を持たないが、弾劾裁判の結果は法的拘束力を持つ。
- 問13 日本国憲法が定める三権分立の相關関係において、最高裁判所長官の選定プロセスを通じた「内閣」と「天皇」の役割の違いを説明したものと、適切なものはどれですか。(2024年 岡山公立入試 類似)
1. 内閣が最高裁判所長官を指名し、その指名に基づいて天皇が任命を行う。
 2. 天皇が最高裁判所長官を指名し、内閣が実務上の任命手続きを行う。
 3. 内閣が最高裁判所長官を任命し、天皇はその報告を受けて国事行為として公表する。
 4. 国会が最高裁判所長官を指名し、内閣の助言と承認によって天皇が任命を行う。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 特別国会（特別会）	衆議院が解散され、総選挙が行われた後に開かれる国会は特別国会と呼ばれます。憲法第54条に基づき、総選挙の日から30日以内に召集しなければなりません。通常、毎年1回、1月に召集されるものは通常国会、内閣や議員の要求によって臨時に召集されるものは臨時国会と区別されます。
問2	答え 1 控訴	三審制において、最初の判決（第一審）に不服がある場合に、その上の裁判所（第二審）へ審理を求めることを控訴といいます。これに対し、第二審の判決に不服がある場合に、さらに上の裁判所（第三審）へ申し立てることは「上告」と呼ばれます。このように複数の段階を設けることで、裁判の誤りを防ぐ仕組みになっています。
問3	答え 1 内閣総理大臣は必ず国会議員の中から指名され、国務大臣の過半数も国会議員でなければならない。	議院内閣制は、国会の信任を得た人物が行政の長となる制度です。日本国憲法に基づき、内閣の首長である総理大臣は国会議員（衆議院または参議院）の中から国会の議決で指名されます。また、内閣を構成する大臣の過半数を国会議員とすることで、行政と立法の円滑な協力関係が図られています。
問4	答え 1 内閣には予算を作成して国会に提出する権限があるが、提出された予算案は必ず衆議院から先に審議される	内閣が予算を作成し国会に提出することは行政上の重要な権限ですが、日本国憲法第60条により、予算案は衆議院に先に提出されなければならないという「予算先議権」が定められています。これにより、国民生活に密接に関わる予算について、より国民の意思を反映しやすいとされる衆議院の判断が優先されます。内閣が独断で予算を確定させたり、国会の議決を経ずに執行したりすることは認められていません。
問5	答え 1 法律、命令、規則、処分などが憲法に適合するかを決定する最終的な権限を持つため	すべての裁判所は違憲審査権を持っていますが、最高裁判所はその判断を最終的に確定させる立場にあります。国の法律や行政の行為が憲法に反していないかを最後にチェックする役割を担っているため、憲法の秩序を守る象徴として「番人」と表現されます。
問6	答え 2 衆議院は参議院よりも任期が短く、解散もあるため、国民の意思をより強く反映しやすいとして「衆議院の優越」が認められている。	衆議院は任期が4年と参議院（6年）より短く、さらに解散があるため、その時々国民の意思を反映しやすいと考えられています。このため、予算の議決や条約の承認、法律案の再議決などにおいて、衆議院の決定を優先させる「衆議院の優越」が認められています。予算については、国民生活への影響が大きいので、必ず衆議院から先に審議する「予算の先議権」も認められています。
問7	答え 1 自らの良心、日本国憲法、および法律	日本国憲法第76条第3項では、すべての裁判官は、その良心に従い独立してその職権を行い、この憲法及び法律にのみ拘束されると規定されています。これは、政治的な圧力や他の国家機関からの干渉を排除し、公正な裁判を実現することを目的とした司法権の独立の重要な柱です。
問8	答え 1 弾劾裁判	司法権の独立を保つため、裁判官の身分は厳重に保障されていますが、職務上の義務に違反したり、裁判官としての威信を著しく失うような行為があったりした場合には例外が認められます。このような場合、立法府である国会が設置する「弾劾裁判所」において、その裁判官を罷免するかどうか判断されます。これは立法権による司法権への重要なチェック機能の一つです。
問9	答え 1 一つの機関に権力が集中することを防ぎ、抑制と均衡によって国民の権利を守るため	三権分立の根本的な目的は、権力の濫用を防ぐことにあります。一つの機関がすべての権限を握ると、独裁的な政治が行われ、国民の自由や権利が脅かされる恐れがあります。そのため、立法、行政、司法が互いにチェック（抑制）とバランス（均衡）を保つことで、民主的な政治を維持し、個人の尊重を保障しようとしています。
問10	答え 1 0 検察審査会	検察官は事件を起訴するかどうかの強い権限（起訴独占主義）を持っていますが、独断で起訴を見送る（不起訴にする）ことで正当な処罰が行われない事態を防ぐために設けられた制度です。主権者である国民がその判断を直接チェックすることで、検察権の行使に民意を反映させ、司法の民主化を図ることを目的としています。重大な刑事裁判の判決に参加する裁判員制度とは、審査の対象や役割が異なります。
問11	答え 1 1 衆議院は参議院に比べて任期が短く解散もあるため、国民の意志をより密接に反映していると考えられるから。	衆議院の優越は、民主主義の原則に基づき、より強く国民の意志を反映している議院の判断を尊重するために設けられています。衆議院は任期が4年（参議院は6年）と短く、さらに途中で解散があるため、その時々国民の意向が選挙結果に反映されやすい性質を持っています。そのため、国の基本方針となる予算や政権の首班指名においては、衆議院の議決を優先させる仕組みになっています。
問12	答え 1 2 国民審査は主権者である国民が直接行い、弾劾裁判は国会が設置する裁判所で行われる。	国民審査は、国民が最高裁判所の裁判官の適格性を直接判断する直接民主制の仕組みです。一方、弾劾裁判は国会議員によって構成される弾劾裁判所が、心身の故障や職務上の義務違反があったすべての裁判官を対象に、罷免するかどうかを判断する仕組みです。どちらも司法の腐敗を防ぐためのチェック機能ですが、実施する主体や対象となる事由が異なります。
問13	答え 1 3 内閣が最高裁判所長官を指名し、その指名に基づいて天皇が任命を行う。	憲法第6条により、天皇は「内閣の指名に基づいて、最高裁判所の長官を任命する」と定められています。実質的に誰を長官にするかを決定する権限（指名権）は内閣にあり、天皇が行う任命は形式的・儀礼的な「国事行為」として位置づけられています。国会が指名を行うのは内閣総理大臣であり、最高裁判所長官と混同しないよう注意が必要です。